

# 佐野市景況レポート

平成27年1～3月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)

調査協力：佐野市あそ商工会

## 佐野市景況調査報告

(平成27年1～3月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、199社(回答率68.6%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### 《 概 況 》

#### 円安によるコスト増加等のマイナス影響が増加

市内各事業所の景況コメントをみると、卸売業、小売業、飲食店の景況感は厳しい。原因は、円安によるコスト増加とその増加分を販売価格に転嫁できないことにあると推測する。デフレが20年間続いたことから、値上げは消費者ばかりか販売業者も相当抵抗感を持っているようだ。

一方、4月1日より、乳製品等の食料品ばかりか、東京ディズニーランドも値上げされる。原材料価格の高騰により値上げされる乳製品と異なり、東京ディズニーランドはなぜ値上げするのか？ 広報部の料金改定連絡書によると、「更なるクオリティの向上を図ることで、ここでしか体験することができない魅力に満ちた世界で唯一のテーマパークを目指し、更なる成長をしてまいります。」と表明している。つまり、値上げは、ハード・ソフトの投資による顧客の更なる価値向上と利益確保にあるようだ。中小企業においても、高付加価値、オンリーワン商品・サービスの提供、消費者への直売等による価格決定権を持つことが重要と思われる。

佐野市景況調査(平成27年1～3月期)によると、全業種業況DI指数は▲12.2、前期(10-12月期)比+3.3ポイントの業況改善となった。利益DI指数は▲19.1、前期比+15.3と大幅な改善となった。売上高DI指数は▲12.0、前期比+7.8、販売価格DI指数は▲6.0、前期比+3.5と伴に改善している。一方、商業・サービス関係の販売経費DI指数は+15.8、前期比+3.2と増加傾向にあり、特に、卸売業+35.3、小売業(飲・食料品)+30.0の経費負担が重い。

今後3ヶ月間(平成27年4～6月見通し)の全業種業況DI指数は、▲15.2、前期比+6.2と改善を見込んでいるが、機械・金属製造業+17.2、設備業▲20.9と業種間のバラツキが大きい。予想売上高DI指数は▲17.4、前期比+5.2と改善を見込むが、機械・金属製造業+14.6、飲食店▲16.7と業種によるバラツキが大きい。一方、予想仕入価格DI指数は19.7、前期比+0.5と高止まりで、特に、飲食店+63.6、食品製造業+55.6と食料仕入価格の高騰を予想している。また、販売価格DI指数は▲0.9、前期比+4.7と改善を予想するものの、仕入価格DI指数+19.7と比較すると価格転嫁が遅れているようだ。

次に、円安影響の調査結果をみると、①大幅なプラス影響：0% (前期比▲12%)、②若干のプラス影響：6% (前期比▲1%)、③影響ない：49% (前期比+17%)、④若干のマイナス影響：34% (前期比▲4%)、⑤大幅なマイナス影響：11% (前期比0%)と、前期調査に比べ円安のプラス影響が減少し、影響なしが増加した。市内調査企業全体では、円安によるマイナス影響が増加した調査結果となり、今後の中小企業及び小規模事業者への影響が懸念される。

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について（平成 27 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数 ▲12.2、前期比 3.3 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①繊維品製造業 6.4 ポイント、②その他の製造業及び飲食店、サービス業 0.0 ポイント、⑤建設業 ▲5.9 ポイント

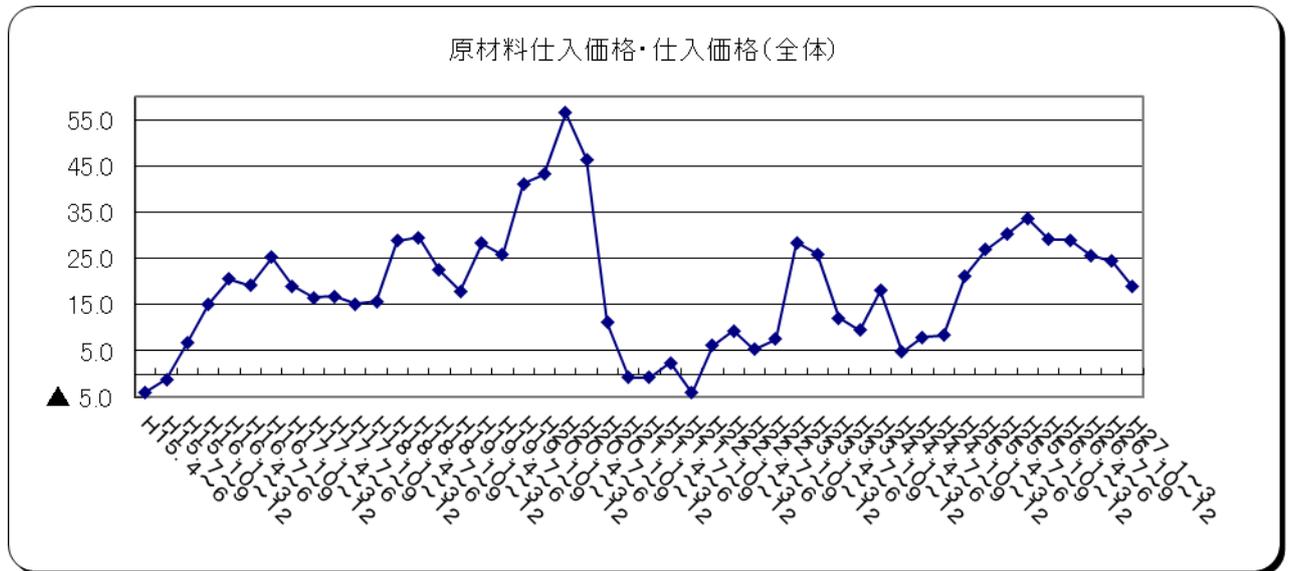


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 27 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数 18.9、前期比 5.5 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①飲食店 75.0 ポイント、②食品製造業 62.3 ポイント、③サービス業 33.3 ポイント、④小売業（飲・食料品）22.0 ポイント、⑤設備業 20.0 ポイント

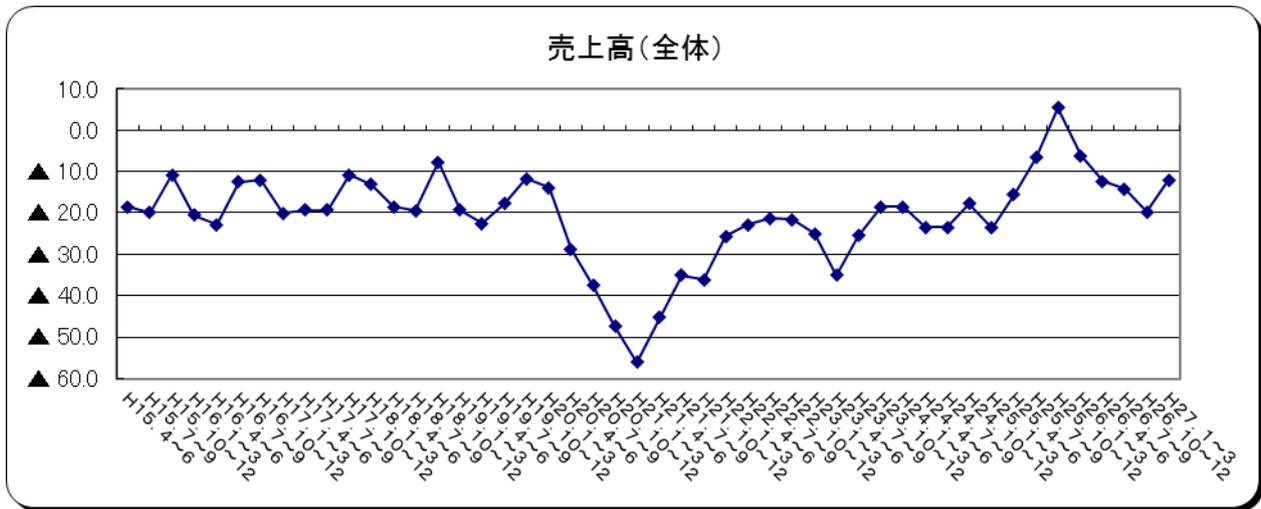


☆ 売上高について（平成 27 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数 ▲12.0、前期比 7.8 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①設備業 7.0 ポイント、②機械・金属製造業 3.5 ポイント、③その他の製造業及び飲食店 0.0、⑤食品製造業 ▲5.7 ポイント

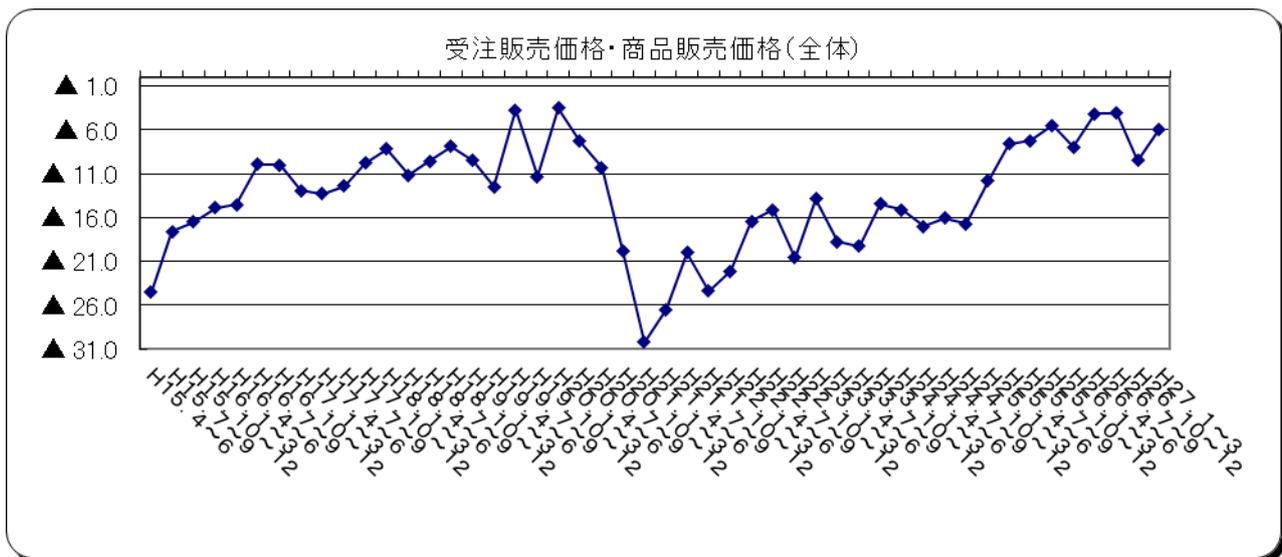


☆ 受注販売価格・商品販売価格について (平成 27 年 1~3 月期実績)

全業種 DI 指数▲6.0、前期 3.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 9.1 ポイント、②飲食店 7.7 ポイント、③食品製造業 5.3 ポイント、④卸売業及び小売業 (飲・食料品)、サービス業 0.0 ポイント



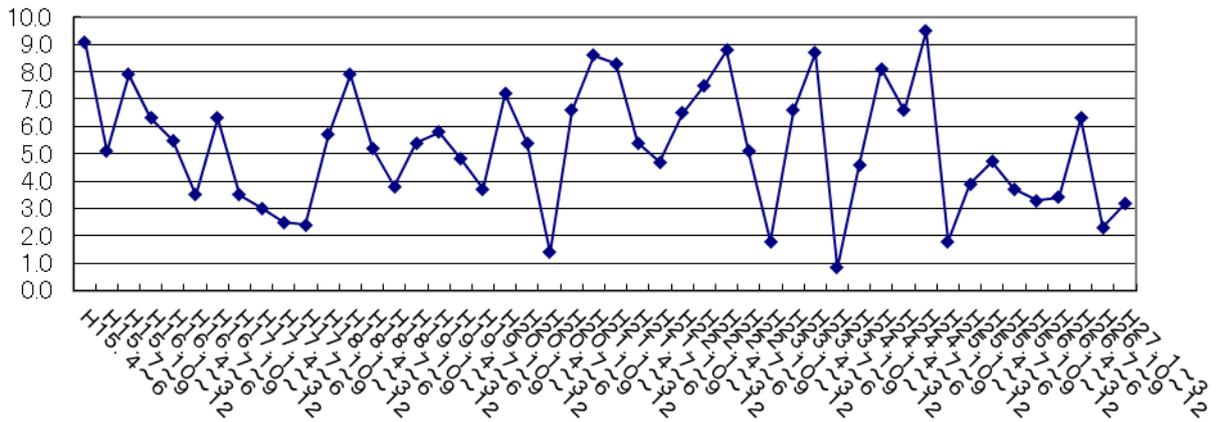
☆ 製品 (材料) 在庫・商品在庫について (平成 27 年 1~3 月期実績)

全業種 DI 指数 3.2、前期比 0.9 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①繊維品製造業 25.0 ポイント、②その他の製造業 17.6 ポイント、③小売業 (飲・食料品) 7.0 ポイント、④機械・金属製造業 6.7 ポイント、⑤設備業 6.4 ポイント

製品(材料)・商品在庫(全体)



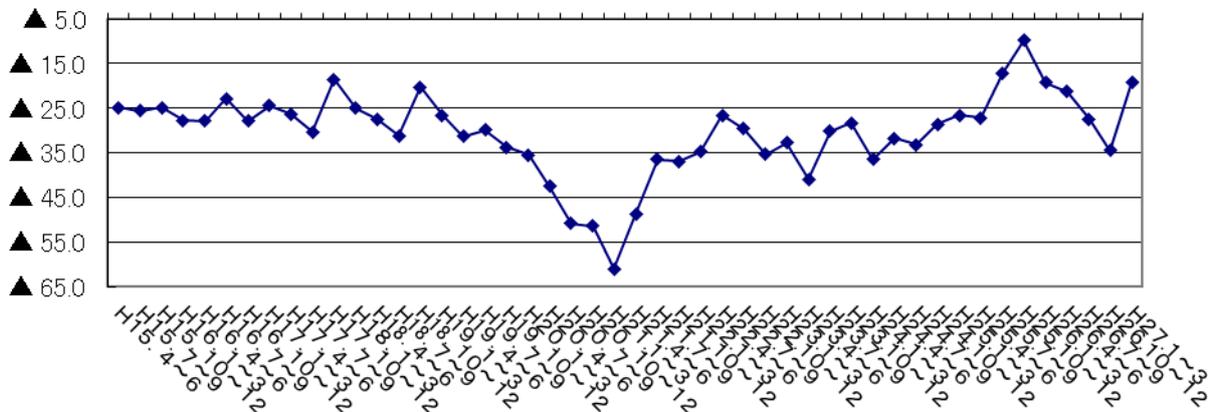
☆ 利益状況について (平成 27 年 1~3 月期実績)

全業種 DI 指数▲19.1、前期比 15.3 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業▲3.4 ポイント、②設備業▲6.7 ポイント③繊維品製造業▲12.5 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲14.6 ポイント、⑤飲食店▲17.6 ポイント

利益状況(全体)



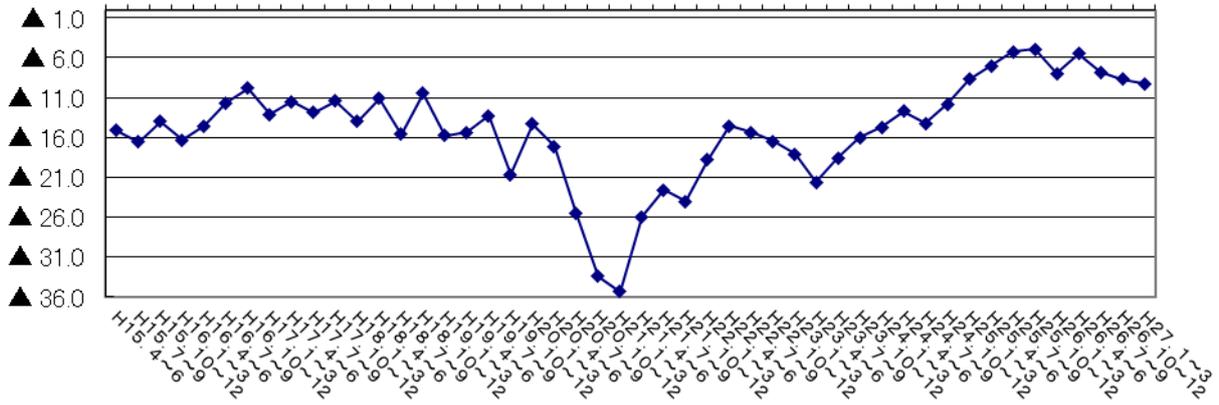
☆ 資金繰りについて (平成 27 年 1~3 月期実績)

全業種 DI 指数▲9.2、前期比 0.5 ポイント低下

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①建設業及び化学・プラスチック製造業、卸売業 0.0 ポイント、④繊維品製造業▲6.1 ポイント、⑤設備業▲6.7 ポイント

資金繰り(全体)



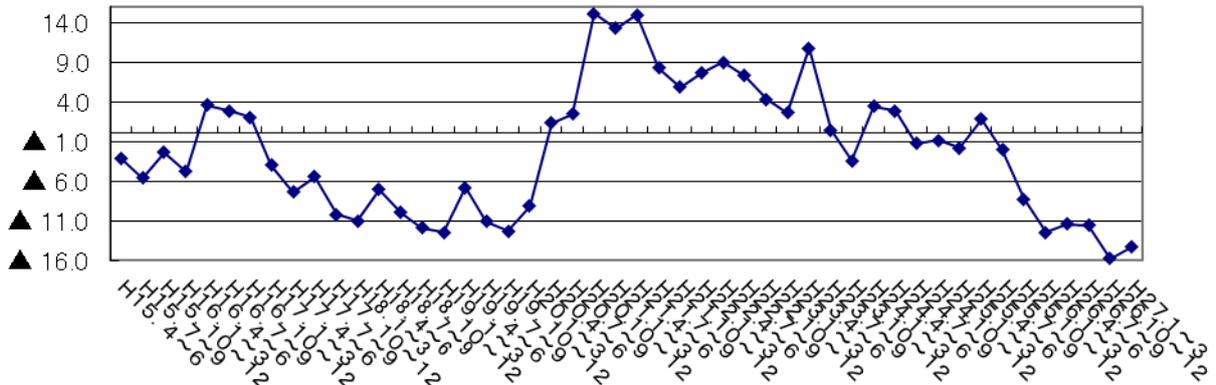
☆ 労働力について (平成 27 年 1~3 月期実績)

全業種 DI 指数▲14.3、前期比 1.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①小売店 (飲・食料品) 14.3 ポイント、②飲食店▲7.7 ポイント、③その他の製造業▲8.6 ポイント、④機械・金属製造業▲10.1 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲10.8 ポイント

労働力(全体)



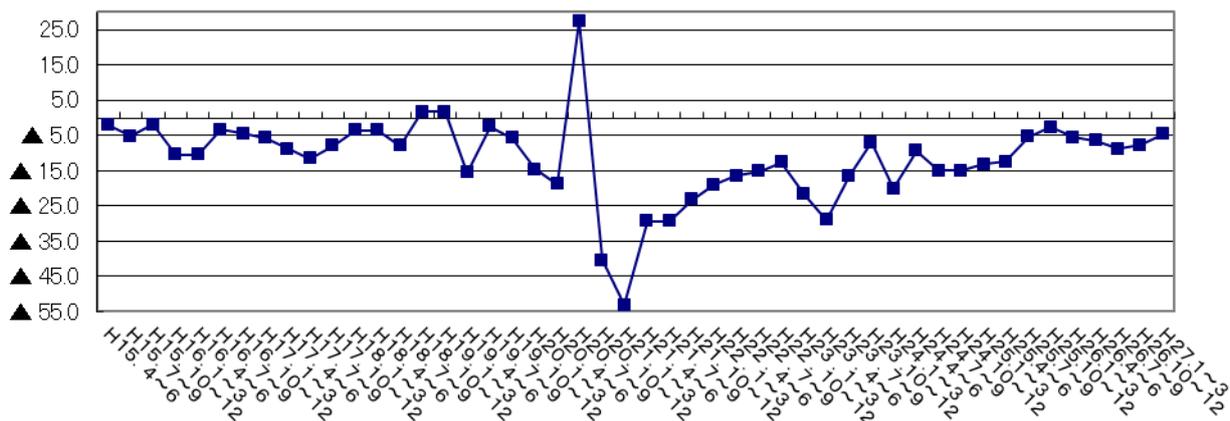
☆ 設備稼働率について (平成 27 年 1~3 月期実績) (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数▲4.6、前期比 3.1 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 9.1 ポイント、②機械・金属製造業 6.8 ポイント、③食品製造業 5.3 ポイント、④設備業及び繊維品製造業 0.0 ポイント

設備稼働率(建設・設備・製造業)



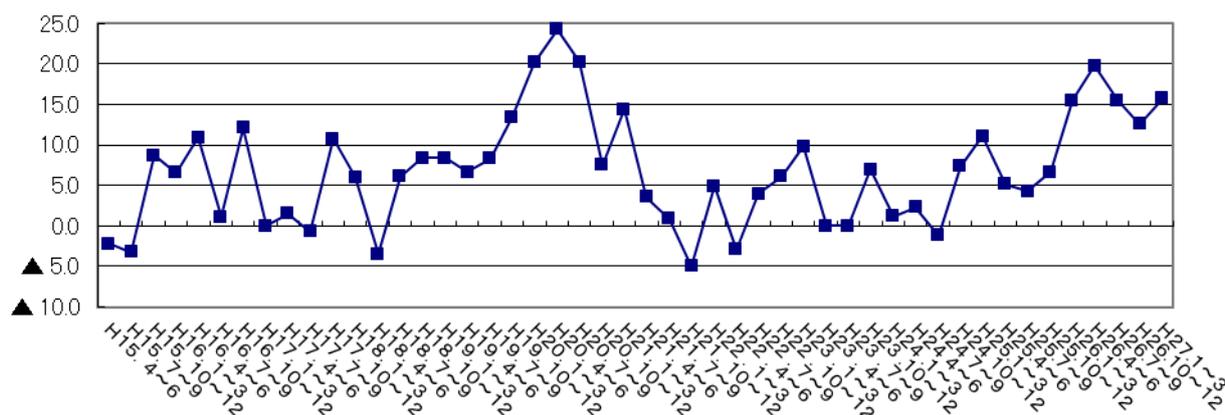
☆ 販売経費について (平成 27 年 1~3 月期実績) (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 15.8、前期比 3.2 ポイント増加

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 35.3 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 30.0 ポイント、③飲食店 16.7 ポイント、④その他小売業 (大型店含む) 9.4 ポイント、⑤サービス業▲0.0 ポイント

販売経費(商業・サービス業)



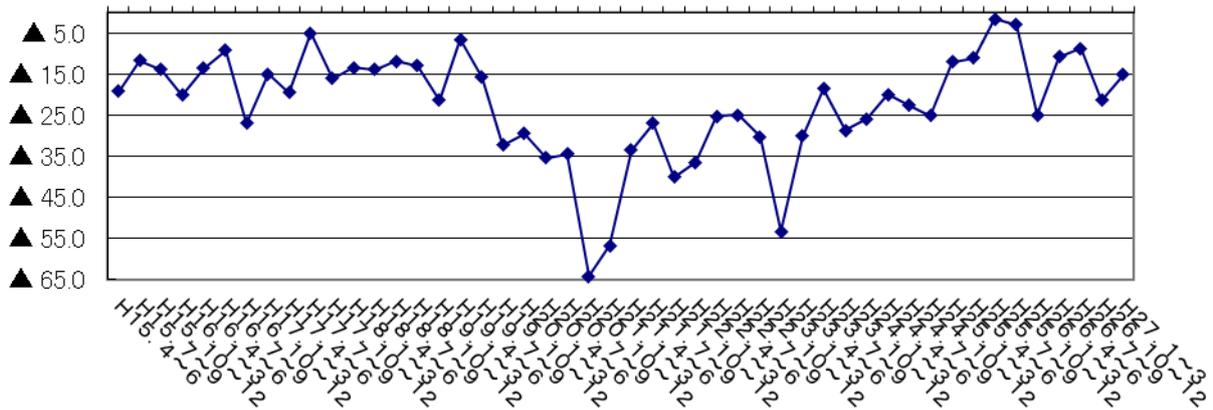
☆ 今後 3 ヶ月間 (平成 27 年 4~6 月期の見通し) の業況について

全業種 DI 指数▲15.2、前期比 6.2 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 17.2 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③食品製造業▲5.7 ポイント、④その他の製造業▲18.8 ポイント、⑤設備業▲20.9 ポイント

業況予想(全体)



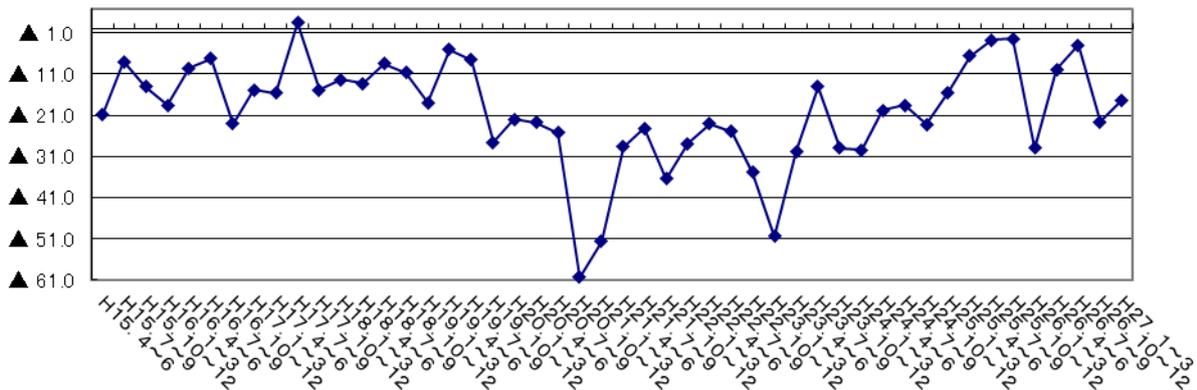
☆ 今後3ヶ月間(平成27年4~6月期の見通し)の売上高について

全業種DI指数▲17.4、前期比5.2ポイント改善

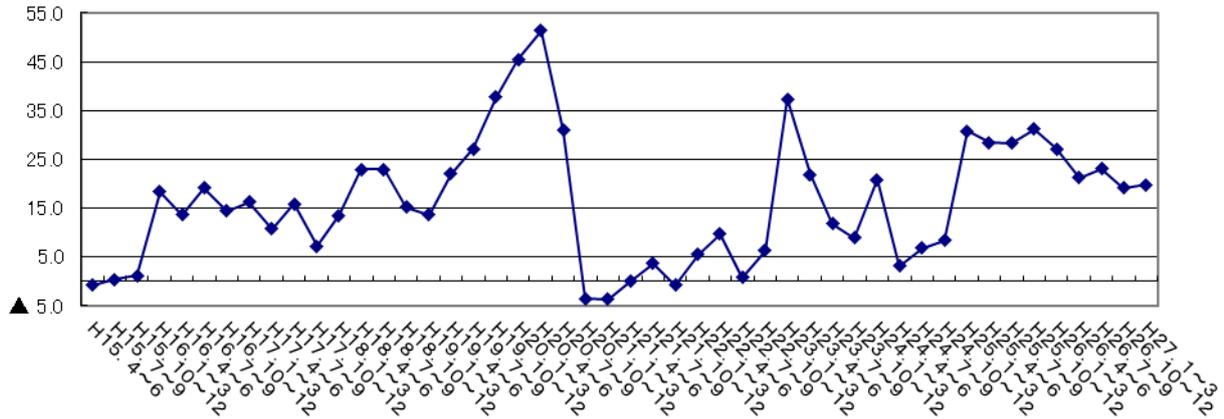
業種別DI指数(上位5業種)

- ①機械・金属製造業 14.3ポイント、②繊維品製造業及び食品製造業 0.0ポイント、④化学・プラスチック製造業▲14.6ポイント、⑤飲食店▲16.7ポイント

売上高予想(全体)



原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



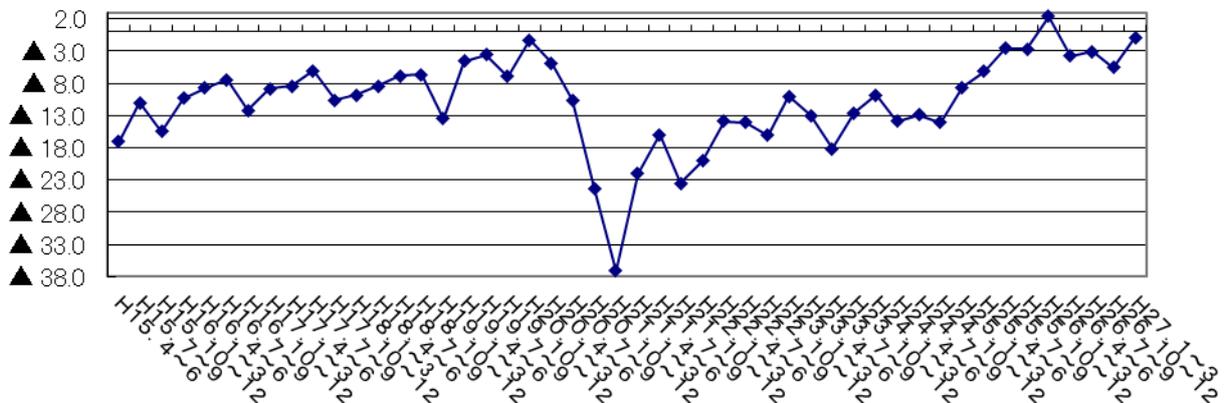
☆ 今後3ヶ月間(平成27年4~6月期の見通し)の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲0.9、前期比4.7ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①飲食店 24.3ポイント、②食品製造業及びサービス業 10.7ポイント、④その他の製造業及び卸売業、小売業(飲・食料品) 0.0ポイント

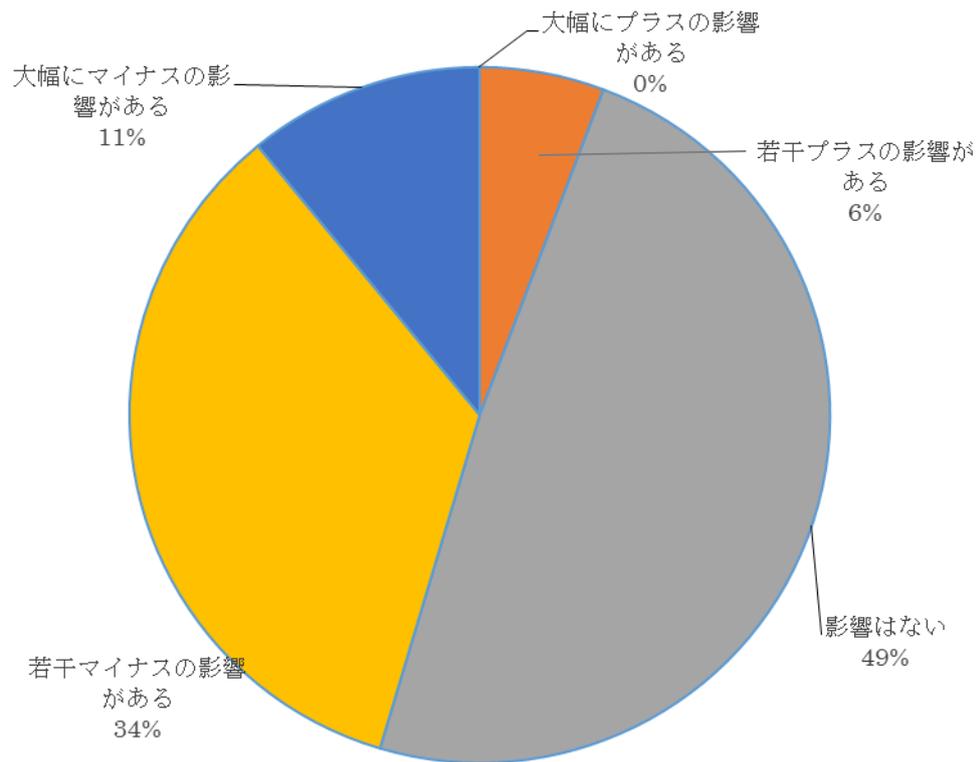
受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 昨今の為替(円安)がもたらす自社への影響(売上・収益・経費等)について

為替(円安)がもたらす 自社への影響について	平成26年10-12月期		平成27年1-3月期	
	構成比(%)	評価ポイント	構成比(%)	評価ポイント
①大幅にプラスの影響がある(+2P)	12%	24	0%	0
②若干プラスの影響がある(+1P)	7%	7	6%	6
③影響はない(0)	32%	0	49%	0
④若干マイナスの影響がある(▲1P)	38%	▲38	34%	▲34
⑤大幅にマイナスの影響がある(▲2P)	11%	▲22	11%	▲22
合計	100%	▲29	100%	▲50

## 円安がもたらす自社への影響について



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・先が見えにくい状況です。
- ・公共建設投資の平成 26 年度の補正予算が期待はずれであったため、新年度第 1 四半期の発注が減少するものと危惧している。民間投資も、太陽光発電等が終了し、景気拡大による設備投資にどれだけ期待できるか不安である。
- ・国の政策である地方創生を本気で実現していただきたい。

### 設備工事業

- ・変わらず普通でした。
- ・見積物件が減少している為、6 月頃からの受注に不安。

## 繊維品製造業

- ・少しずつ景気が回復しつつあるのを感じます。
- ・円安と消費税増税の影響か、思ったよりも当期は前期同様、売上が上がらなかった。今期(4月～6月)は期待している。
- ・大手企業の賃上げが確実に実施されないと、長引く消費低迷(いろんな要因が重なり)より脱却出来ない。

## 食品製造業

- ・原材料の値上げを販売価格に転嫁するかどうか？消費も落ち込んでおり、大変厳しい状況です。忙しく仕事をこなしておりますが、なかなか明るい日は見えてきませんね。
- ・超大手のベアが中小にまで降りてくるのはいつになるのか、このまま終息が見えない。
- ・1～3月は売上増加傾向にあるが、5月の価格改定に向け、前倒しで受注がきている状況に過ぎない。5月以降先が見えない状況で、社員のモチベーションが下がり、離職者が増えないかが心配である。
- ・原材料は輸入物が多く、原料費の値上げが高くて、資金繰りが大変です(砂糖の値上げ大)

## 機械・金属製品製造業

- ・大手企業は利益拡大とマスコミが騒いでいるが、零細企業は苦しい、アベノミクスは関係なし、国会議員の削減を望む、と言っております。
- ・1月～3月は元々不需用期で例年並の動きです。但し、仕入高の市況安で流通の採算が悪化してきている。在庫過剰で早急な在庫調整が必要。
- ・北陸新幹線開業で、金沢方面は賑わっていますが…東北地方の復興は、まだまだの状態です。震災から4年目ですが、いまだに仮設住宅に住んでいる人、壊れた家屋で生活している人、さまざまです。早く安定した暮らしができる様に、行政の力でなんとかして下さい!!
- ・販売している商品の原材料が外国からの輸入資源が多く、円安で原材料の価格が上がり、販売しにくい状態が出てくる。
- ・景気が改善する兆候は見られない。
- ・中国の停滞の影響が大きい。
- ・引き続き、ダンプ車の需要が高まっています。
- ・各社決算月の為、在庫処理(低減)の影響で受注が減となっております。4月以降に期待を持っているのですが、まだ先行き不透明です。
- ・円安で当社はあまり影響はないが、個人的に影響大である。

## 化学・プラスチック製品製造業

- ・ドル高により材料及び資材が今後も上昇すると思われる。資金繰りは、今後のアメリカの利上げの影響が出てくる。
- ・国内生産回帰の期待を込めての“若干プラス”の回答です。
- ・注文数、小ロットが多くなってきた。
- ・円安ですが原油低下で原材料は今の所メーカーの値上げの動きナシ。

## その他の製造業

- ・円安は仕入材料の高騰でマイナス要因。製品転嫁は難しい。しかし仕事の量は増えている。来期以降はわからない。
- ・前年対比で今年度は10%くらいの出荷ダウンの予想です。燃料や電気代が下がるのを期待しています。円安は輸入品が上がるので問題あり。

## 卸売業

- ・悪過ぎてコメントできません。
- ・4月以降、価格改定（値上げ）をおこなうメーカー数社あり。

## 小売業（飲・食料品）

- ・円安の影響からか？包材、原材料が大幅に上昇。いまの所価格に転化することも出来ない。
- ・かわらぬ悪い状態で続いています。
- ・前期は、クリスマス等イベントがあり、少々良かったですが、今期のバレンタイン、ホワイトデーはあまり影響がなく、だめでした。4月からは、乳製品、マーガリンが値上りする為、増々悪くなると思います。
- ・円安で原材料価格が高騰してしまい、商品価格にどう対処するか？
- ・駅中心市街地の衰退は著しいと思います。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・仕入価格の上昇。
- ・陽気が良く安定した日々が続けば、客足も来店して頂けると思う。まだまだ厳しい売上です。
- ・円安になるとファンドなど買っている方は大幅にプラスになっていいんじゃないでしょうか。この頃日本経済が良くなったんですネ。株がドン々上っている様子ですネ。いつも中小企業は芽が中々出にくいんでしょうか。いろいろ教えて下さい。
- ・すべて下止まりなく、先が見えません。借金が無いのが、救いです。

## 飲食店

- ・仕入価格の高騰により利益が出ないです。売上高は順調に伸びています。
- ・北陸新幹線の開業で、首都圏のお客様が金沢方面へ流れてしまう懸念がある。
- ・材料、特に肉、野菜が高止まり。その他も消費税に準じて高騰気味で利益は減少している。

## サービス業

- ・分譲用地の取得が出来、最近の住宅用地ニーズに応えられると期待しています。商品販売価格は低価格が横ばいですが、ひとつひとつの利益が薄くても、コンスタントに売買を続ける努力をしています。
- ・大企業中心の景気で、企業、元請け、ココは良い。下職、話ですと売値は全然上っていない。孫請けは全然上げてもらえないので苦しい。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成27年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

